

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 24 日

Table with columns for 事務事業名, 都市計画の見直しに関する事務, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 都市計画総務事業, 事業期間, 単年度繰返し, 年度, 期間限定の場合, 総投入量を(3)投入量の右側に記入

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about urban planning review and a list of tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for activities like public hearings and targets like decision count.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 期間限定総投入量. Includes rows for 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B).

Table with columns for 27年度事業費実績(千円), 28年度事業費予算(千円). Includes rows for 01報酬, 09旅費, 11需用費, 14使用料及び賃借料, 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes text about urban planning review and a list of main tasks.

| | | | | | |
|-------|----------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 都市計画の見直しに関する事務 | 事務事業No. | 40401000759 | 所属課 | 都市整備課 |
|-------|----------------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

| | |
|---|---|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? | 平成21年3月に市議会が「調整区域の撤廃及び都市計画区域見直しを求める請願」を採択したこと等から、区域区分をはじめとする都市計画制度の適正かつ合理的な見直しを図ることが必要となったものである。 平成27年2月に桜川市都市計画審議会から「桜川市における区域区分の廃止及び新制度の構築に関する答申」がなされており、慎重を期しながらも、事務事業は着実に進捗している。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? | 平成21年3月に市議会が「調整区域の撤廃及び都市計画区域見直しを求める請願」を採択し、同年6月には市議会から改めて都市計画区域区分の廃止の要望がなされている。また、市が平成24年度に実施したヒアリングにおいては、不動産事業者等から区域区分の廃止を求める意見が寄せられているほか、市役所の窓口においても、随時、市民等から現行の都市計画制度に対する疑問の声が寄せられている。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) | <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている | 第1次総合計画に掲げる「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図るためには、適正かつ合理的な都市計画制度の見直しが不可欠である。また、H27年度市経営方針において「コストを維持し、成果の向上を目指す施策」に位置付けられている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である | 都市計画法で都道府県又は市町村の事務事業と規定されている。なお、国の技術的助言の性格を有する「都市計画運用指針」において、都市計画の中心的主体は市町村とされている。 |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) | <input type="checkbox"/> 向上余地がない | 正規職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図る予定である。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) | <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 | 都市計画法で都道府県又は市町村の事務事業と規定されており、廃止できない。なお、国の技術的助言の性格を有する「都市計画運用指針」において、都市計画の中心的主体は市町村とされている。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 | <input type="checkbox"/> 余地がない | 都市計画法で都道府県又は市町村の事務事業と規定されており、他に手段がない。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない | 正規職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図る予定である。なお、都市計画の見直しには、優れた知見が求められるほか相当の裁量が伴うため、正規職員以外の職員での対応は難しく、人件費削減余地は少ない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) | <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である | 都市計画の見直しは、特定の個人に止まらず、桜川市民全般に影響を与えるものであり、受益機会・費用負担は公正・公平であると考えられる。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----|----|----|--|--|----|--|---|--|----|--|--|--|--|--|----|----|----|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | 当該事務事業は、都市計画法で都道府県又は市町村の事務事業と規定されており、第1次総合計画(後期基本計画)第4章に掲げる基本政策「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図る上で、不可欠なものである。なお、当該事務事業の執行に当たっては、正規職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図る予定である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 | <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table> | 成果 | 向上 | | | | 維持 | | ○ | | 低下 | | | | | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト削減優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |